

英語スピーチコンテスト 話したい内容で 優勝できた

綿谷君 1位
三宅君 2位



▲賞状とトロフィーを手に笑顔を浮かべる綿谷君（左）と三宅君



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

11月6日の昼休みに本校校長室で英語スピーチコンテスト、ミシガンカップの表彰式が行われた。受賞者には校長先生より賞状とトロフィーが授与された。

11月4日にミシガン州立大学連合日本センターで第30回ミシガンカップ 滋賀県高校生英語スピーチコンテストが行われた。その結果、スピーチを披露した綿谷明太郎君（2-1）が1位、三宅竜乃介君（1-1）が2位に輝いた。このコンテストで本校の生徒が1位を取ったのは、綿谷君が初めてだ。このコンテストでは自由題による英語のスピーチを行った。綿谷君は言語を学ぶことで考え方も学べるという内容のスピーチを、三宅君は表情や声についてのスピーチを行ったそうだ。結果を受けて綿谷君は「自分の話したい内容のスピーチをして優勝できたことがうれしい。昨年もこのスピーチコンテストに出場した経験があったので、緊張することなくリラックスしてスピーチすることができた」と微笑んだ。2位を勝ち取った三宅君は

「自分は中学生のときもスピーチコンテストに出場したことがある。中学生のときとは違い、高校生がするスピーチの内容は大人びているように感じた。そんな雰囲気の中でも自分の伝えたいことを英語で表現できるように頑張った」と感想を述べた。加えてスピーチする際に気を付けたことを「明るい声で、抑揚をつけて話すように工夫した」と振り返った。最後にこれからの目標について綿谷君は「英語だけでなく、国語や数学などほかの勉強も頑張っていきたい」と、三宅君は「今年は2位だったので、来年は優勝できるようにまた挑戦したい」と意欲を見せた。



▲綿谷君は青山吉伸校長先生から賞状を受け取った。